

2026愛媛県中学生バレーさだ岬カップ in 伊方町

【競技運営上の確認事項】

- (1) 競技は、2026年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び、2026年度(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部としての取り扱いに準ずる。
 - ① ネットの高さは、男子2m30cm、女子2m15cmとする。
 - ② 大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定4号球、人工皮革カラーボールとする。
(男子：ミカサV400W、女子：モルテンV4M5000)
 - ③ リベロプレーヤーは2名以内とする。
 - ④ 今大会は、「給水のためのタイムアウト」は採用しない。
 - ⑤ 全ての試合ワンボールシステムで実施する。
- (2) 本大会の競技運営は、全試合「時間設定」で行う。設定時刻は、**プロトコール開始時刻**とする。但し、前の試合が長くなった場合、次の試合開始時刻は5分の合同練習後、プロトコールに入る。早く終了した場合は、設定時間の5分前から合同練習に入る。なお、試合が続く場合は前の試合が2セットで終了したときは15分、3セットで終了したときは20分の休息をとり、その後合同練習に入る。
- (3) 公式ウォームアップにおいて、登録されていない選手が、防球フェンス的役割で他コートへのボール侵入を防ぐためにコート際へ立つことができる。ただし、監督やコーチへの球渡し(球出し)やエントリー選手とのパス相手は厳禁とする。
- (4) **合同練習を含む試合間の練習は、隣のコートにボールが飛び込まないように練習とする。(ネットは使用できない。)**
- (5) 試合中、ベンチ及びフロアーには、登録された監督・コーチ・マネージャー及び選手以外は入ることができない。
- (6) 監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。
※ 規定のマークがない場合は、ベンチに入れない。
※ チームキャプテンは、胸のナンバーの下に規定のマークをつけること。
- (7) 監督・コーチの服装は、統一されたものが望ましい。(短パン・ランニングは不可)
- (8) 監督・コーチのベンチマナーについては、十分留意すること。
- (9) ユニフォームについては、規定を遵守すること。
- (10) 試合コート及びフロアーでのボール使用は、試合間、合同練習、公式練習、セット間(フリーゾーン後方のみ)以外は認めない。また、ロビーなどでのボール使用は禁止するものとし、他は会場使用規定に従う。
- (11) エントリーの変更・訂正は、**各チーム1日目の第1試合の前までに、エントリー変更用紙を本部に提出すること。**(これ以後のエントリー変更はいかなる場合も認めない。)
- (12) **記録用紙用のメンバー表(大会申し込み書データで自動作成)を、各チーム1日目の第1試合の前までに本部に提出すること。**
- (13) コートオフィシャル(ラインジャッジ・得点係)について
第1試合は第2試合のチームから3名ずつ、第2試合以降は前試合の敗者チームから6名出ることとする。
- (14) **代表者会議は行わない**ため、試合開始時刻に遅れないよう注意すること。
- (15) その他
 - ① 試合開始及び終了のあいさつ後、両チームはネットまで進み、握手をしてあいさつする。チームキャプテンは、主審・副審に握手をしてあいさつする。
 - ② 試合中、ベンチには、競技に必要な物を持ち込むことはできない。(マスコットやうちわ等)
 - ③ 試合中、スマートフォン・タブレット・トランシーバー等の電子機器を使用することはできない。
 - ④ 応援時のメガホン・ペットボトル等の使用は認めるが太鼓や鳴り物の使用は認めない。ただし、音量や応援の方法が試合運営に支障があると判断した場合は、試合途中であっても使用中止にする場合もある。
 - ⑤ 応援のマナーや、会場使用に関するマナーを守ること。
 - ⑥ 駐車場はスペースが限られるため、できるだけ乗り合わせて車の台数を減らすこと。
 - ⑦ 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任として十分留意すること。なお、競技中の負傷については、応急処置は行いが、以後の責任は負わない。それ以上は保護者負担となることを承諾のうえ、代表保護者名を記入すること。
 - ⑧ 競技運営上の問題については、大会本部で合議し、最終判断する。

2026愛媛県中学生バレーさだ岬カップ in 伊方町

【審判上の確認事項】

- (1) 「トス」の後、監督及びチームキャプテンは、記録用紙にサインする。その際、監督はリベロナンバーを記入する。
- (2) 公式ウォームアップは、6分間とする。どちらかのチームが相手チームとは別にネットを使用したウォームアップを要求した場合は、各3分間ずつ行うものとする。その際、ネットを使用しないチームは、ネットを使用するチームの練習を妨げてはならない。
- (3) 各セット開始前にコート内でハドルを組む際は、ラインアップシートに記載された6人とスターティングリベロの計7名までとする。
- (4) 各コートには、ウォーム・アップ・エリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- (5) セット間はエンド・ライン後方のフリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- (6) スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(相手チームに向かってのガッツポーズ等)
- (7) いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意すること。ボールがデッドになった時点での不必要なコート外への飛び出しは、ディレーイング・ザ・ゲームになる恐れがあるので行わないこと。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者とタッチ（ハイタッチ）などは行わないこと。
- (8) ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- (9) およそ8秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つこと。
- (10) リベロリプレイメントは、交代する2名がサイドライン上ですれ違うよう行う。その際、交代する選手同士が、手を挙げたり、つま先を揃えて一旦立ち止まったりする必要はない。
- (11) タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。
- (12) 試合中のワイピングについては、原則としてコート内の選手が行う。(ワイピング用のタオルを各チームで準備しておく。) タイムアウト、セット間及び審判員が危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。
- (13) 監督はラリー中、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことを許可する。